

達成度		方向性	
A	目標以上に実施し、想定よりも大きな効果を得ることができた	A	拡大(新規含む)
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた	B	継続
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している	C	縮小(終了も含む)
D	未着手もしくはほとんど達成できなかった		

3つの基本方針
(1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読書

施策	No.	計画掲載頁	施策の内容	所管・関連部署	事業名	事業の概要	平成30年度の事業実績		平成30年度の目標達成度		令和元年度の事業の方向性	
							内容(複数ある場合は分けて記入してください)		達成度	達成度の理由	方向性	方向性の理由
2 地域 での 取組	5	13	(3)児童センターにおける読書環境の整備	三橋	児童センターにおける読書環境の整備	職員によるお話し会やボランティアによる読み聞かせ、本の閲覧や貸出しなど、来館者が楽しく読書に対する興味がわくような取り組みの実施	おはなしの部屋の開催	C	読み聞かせボランティアの都合により、実施回数が減少(年11回→9回)したため、幼児47人保護者43人計90人の参加と、前年度の参加者数(幼児85名保護者70名)を下回ったため。	B	引き続き、ほぼ同数の参加者を目指して事業を継続する。	
							本の閲覧や貸出しの実施	A	年間478件の本の貸出しを行った。	B	引き続き、ほぼ同数の利用を目指して事業を継続する。	
							ボランティアによるおはなし会の実施	B	年間参加者101人で、ほぼ例年どおりの参加数だったため。	B	引き続き、ほぼ同数の参加者を目指して事業を継続する。	
							ボランティアによる読み聞かせの実施	B	年間参加者257人で、ほぼ例年どおりの参加数だったため。	B	引き続き、ほぼ同数の参加者を目指して事業を継続する。	
							本の閲覧や貸出しの実施	B	年間参加者80人で、ほぼ例年どおりの参加数だったため。	B	引き続き、ほぼ同数の参加者を目指して事業を継続する。	
							本の読み聞かせの実施	B	毎回15人前後の参加があったため。	B	児童の放課後の過ごし方について自主性を尊重することと、読み聞かせへの参加も同様とする。	
							読書に関心を持ちきっかけづくりとする職員による推薦図書を紹介	B	推薦図書を5冊紹介し、幼児・児童・保護者に手に取ってもらうことができたため。	B	引き続き、読書に関心を持ちきっかけづくりとなるよう、事業を続ける。	
							図書室内図書の整備、希望者への貸出し	B	定期的に貸出し希望者がいるため。	B	大幅な図書の入替はできないため、昨年と同等の目標を目指し、事業を継続する。	
							図書室・学習室の図書環境整備	C	図書室や学習室利用に係るポスター掲示等をし、子どもたちに向けて読書を推進する環境整備を行ったが、効果が得られたかは不明確であるため。	B	引き続き、読書環境の整備に努める。また、今年度は中規模修繕のため休館となるが、次年度以降読書活動推進のための効果的な事業展開について検討する。	
							乳幼児事業における読み聞かせの実施、おすすめ図書の紹介	B	参加親子に本等に親しんでもらえたため。	B	引き続き継続していく。	
							ボランティアによる小学生対象の読み聞かせ	B	クラブ児童を中心に参加、様々な本にふれあう機会となったため。	B	参加者増を目指し、事業を継続していく。	
							図書の貸出、整備	B	図書の定期的な入れ替えを行い、乳幼児親子、小学生の積極的、継続的な貸出があったため。	B	引き続き貸出しの実施をしていく。	
							ボランティアによる幼児対象の読み聞かせを実施	B	週1回幼児事業の終わりに読み聞かせを実施し、固定の参加者を獲得したため。	B	今後も継続する。毎回楽しみにしている親子がいるため。	
							ボランティアによる小学生の読み聞かせを実施	B	放課後児童クラブの子どもの通を中心に定着したため。	B	今後も継続する。毎回楽しみにしている子ども達がいるため。	
							図書の貸出しの実施	B	貸出しの利用が継続的に見受けられたため。	B	引き続き、図書の貸出しを行う。	
							乳幼児事業の中で、読み聞かせを実施する。	B	親子で絵本に親しんでもらえたため。	B	引き続き、乳幼児事業の中で実施する	
							幼児を対象としたボランティアによる読み聞かせの実施	B	月1回の実施だが、年間の参加者数が70名以上となっているため。	B	年間参加者数が安定しているが、他の幼児事業の際にも広報をし、周知を図る。	
							小学生を対象としたボランティアによる読み聞かせの実施	B	放課後児童クラブに籍児童に向けて実施したため。	B	放課後児童クラブの児童だけでなく、一般児童の参加も受け入れ、誰でもみられるようにしていく。	
							図書の貸出しの実施	B	建物内に市の図書館があるため利用は多くないが、継続的な利用がみられるため。	B	引き続き図書の貸出しを実施し、気楽に本に親しめる環境づくりを心がける。	
							おはなし会の実施	B	年258人の親子が参加し絵本に親しむ機会を提供できたため。	B	引き続き、昨年同様の参加数を目指して事業を継続する。	
							図書の貸出しの実施	B	年間376冊の本の貸出しを行ったため。	B	引き続き、昨年同様の利用を目指して事業を継続する。	
							おすすめ図書の設置	B	図書担当を決めて、子どもたちが興味ある本や優良図書などを提供したため。	B	中規模修繕のため半年間休館となるが、前半は引き続き継続する。	
							乳幼児と保護者向けの「ぶちおはなし会」の実施	B	年間参加者数342人で、昨年にも増して父親の参加が増えたため。	B	中規模修繕のため半年間休館となるが、前半は引き続き継続する。	
							ボランティアによる乳幼児と保護者及び小学生向けおはなし会の実施	B	年間参加者数496人で、昨年よりも増加したため。	B	中規模修繕のため半年間休館となるが、前半は引き続き継続する。	
							読み聞かせボランティア「おはなしダンダン」による、幼児親子・児童向け「おはなし会」の実施	B	毎月1回実施することで、継続して楽しみに参加してくれる親子も少しずつ増えてきたため。	B	開催日(年間)をポスター等で掲示する等周知し、引き続き継続する。	
							読み聞かせボランティア「民話の会」による、児童向け「おはなしひろば」の実施	B	児童クラブの児童が中心だが毎月楽しみに参加しているため。	B	開催日(年間)をポスター等で掲示する等周知し、引き続き継続する。	
							乳幼児事業における絵本や紙芝居の読み聞かせの実施	A	絵本の読み聞かせ事業の参加者が増え、毎回参加している親子が増えたため。	B	引き続き読み聞かせ事業を展開し、年齢に添った内容を充実させる。	
職員のお勧め図書の掲示、図書の貸出しの実施	A	親子で読み聞かせをしている姿や、小学生の貸出しの利用が増えたため。	B	図書の貸出しのPRを強化し、引き続き貸出しを実施する。								
ボランティア「はらっぱ」「ゆめのはこ」による絵本の読み聞かせとわらべ歌遊びの実施	A	年間423名の参加があり、参加者が定着してきたため。	B	参加者の定着率を目指し、引き続き事業を展開する。								
新規図書の購入および経年劣化した図書の廃棄等、図書整備の上、自由閲覧および希望者への図書貸出しをした。	B	利用者数および図書貸出件数ともに、前年度と同程度であったため。	B	引き続き、昨年度とほぼ同数の参加数を目指して、事業を継続する。								
ボランティアによる読み聞かせ「絵本の会」「おはなしトランプ」を実施。	B	予定回数どおりに実施し参加者数も前年度と同程度であったため。	B	引き続き、昨年度とほぼ同数の参加数を目指して、事業を継続する。								
ボランティアによる乳幼児親子向けの読み聞かせ「おはなし会」の実施	B	夏休み中の8月以外は毎月1回、計画どおりに実施できたため。	B	読み聞かせボランティア団体と話し合って決定した。								
幼児向け事業内での職員による絵本や紙芝居の読み聞かせ(毎日)実施	B	予定回数どおりに実施し、想定どおりの効果があったため。	B	引き続き継続していく。								
ボランティアによるおはなし会(月1回)の実施	B	予定回数どおりに実施し、参加者も前年度と同程度であったため。	B	引き続き継続していく。								
地域ボランティアによるお話し会を定期的に開催し、親子や小学生が絵本に親しむ機会を提供した。	B	月に1回と、長期休み期間に2回実施できたため。	B	引き続き、継続していく。								
乳幼児向け事業の中で、絵本や紙芝居の読み聞かせを実施した。	B	計画どおり、実施できたため。	B	引き続き、継続していく。								
図書の閲覧	B	図書を分類ごとに分け選びやすくし、整理整頓に努めているため。	B	ゆったりした環境で読書を楽しんでもらうため、スペースの確保を工夫していく。								
乳幼児向け事業での読み聞かせの実施	B	年齢別事業などで各回平均25組の参加があったため。	B	引き続き継続していく。								
ボランティアによる小学生向けのおはなし会の実施	B	12回実施し、200人の参加があったため。	B	引き続き継続していく。								
推薦図書と新刊の設置と案内	B	話題の図書や新刊コーナーを設置したため。	B	利用者の声を参考にして継続していく。								
※上記以外に、子ども読書に関する事業の実施がある場合は、下の行に追記してください。												